

# 仕様書

1 業 務 名 医療廃棄物処理業務

2 施行場所 名取市愛島塩手字野田山47番1号  
地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター

3 期 間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

4 目 的

廃棄物の処理及び清掃に関する法律等諸法令の規定に基づき、当該施設が常に正常な状態において、その機能を保持するため、医療系廃棄物等について定期的に産業廃棄物の収集運搬および処分（処理容器の搬入を含む）を行い、その環境の保護と施設の保全を図るものである。

5 監 督

処理業務を履行するにあたり、落札業者（以下、「受注者」という。）は地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立がんセンター（以下、「発注者」という。）の選任する監督員の指示監督のもとに、関係法令等を遵守し当センターの業務に支障をきたさないよう履行するものとする。

6 報 告

処理業務終了後は、その都度、電子マニフェスト（JWNET）を使用すること。

7 収集処理期日等

- （1）産業廃棄物の収集運搬については、毎週3回以上回収できる体制を確保すること。
- （2）処理容器搬入については、発注者より依頼のあった都度補充できる体制を確保すること。
- （3）収集運搬日・処理容器搬入日については、事前に発注者受注者協議し、発注者の指示による日時に行うものとする。
- （4）収集運搬と処理容器等搬入を同じ車両で行うことは、衛生上認めない。それぞれ専用の車両により収集運搬・処理容器等搬入を行うこと。ただし、コンテナ内部が完全に仕切られている等、処理容器等の衛生が確保されると認められる場合は、この限りでない。
- （5）産業廃棄物の焼却灰の最終処分場は原則宮城県内とし、やむを得ず宮城県外で行なう場合は、発注者に事前に報告するものとする。

8 収集処理の内容

- （1）発注者は、産業廃棄物を感染性廃棄物、非感染性廃棄物に分けて排出するものとする。
- （2）排出方法については、次のとおりとする。

イ 感染性廃棄物

医療廃棄物容器に封入し、集積所にて保管する。受注者は集積所より廃棄物を収集運搬処分する。

ロ 非感染性廃棄物

45ℓ袋に廃棄処分し、集積所に保管する。受注者は集積所より廃棄物を収集運搬処分する。

9 収集運搬処理予定数量及び処理容器等の仕様について

産業廃棄物収集運搬処理数量の年間見込数量及び処理容器等の仕様については、次のとおりである。  
なお、本案件公開時点での予定数量であり、増減を生じる場合があるが、過不足の保証は行わない。

（1） 収集運搬処理予定数量

イ 感染性廃棄物（容器は発注者が準備する。容器は別メーカーの同程度の容量のものが少数混在する

場合がある)

- ① 荷 姿：医療廃棄物処理容器ウェットペール（200）  
予定数量：10,410個／年
- ② 荷 姿：医療廃棄物処理容器ウェットペール（500）  
予定数量：280個／年
- ③ 荷 姿：医療廃棄物処理容器ウェットペール（700）  
予定数量：70個／年
- ④ 荷 姿：注射針回収容器（30）  
予定数量：1,740個／年
- ⑤ 荷 姿：注射針回収容器（50）  
予定数量：12個／年
- ⑥ 荷 姿：ケモセラピーコレクター（34.10）  
予定数量：2,780個／年
- ⑦ 荷 姿：感染性非鋭利物廃棄用段ボール（400）  
予定数量：26,770個／年
- ⑧ 荷 姿：感染性非鋭利物廃棄用段ボール（800）  
予定数量：2,360個／年

ロ 非感染性廃棄物（廃プラ・ガラスくず等）

- ① 荷 姿：プラスチック袋（450）  
予定数量：8,710袋／年

（2）処理容器購入見込数量

- イ 荷姿：2重にした450袋に詰めた後、800段ボール箱に2袋梱包する。（袋は発注者が準備する）  
段ボール箱は必ず橙色のバイオハザードマークが付いたものを準備すること。
  - ・800段ボール購入見込数量：2,540個／年
- ロ 荷姿：丈夫なプラスチック袋（450）とする。袋には「非感染性廃棄物」と記載されたものを準備すること。
  - ・処理袋購入見込数量：9,100袋／年

## 10 その他

- （1）受注者は、当該処理に障害が発生した場合、発注者の要請により速やかに適切な処置をするものとする。
- （2）発注者と受注者は落札後、速やかに収集運搬委託契約書を締結するものとする。
- （3）発注者は受注者が指定した処分業者と産業廃棄物処分委託契約書を締結し（二者間契約）、処分料金の支払いは、発注者から受注者に支払い、受注者から処分業者へ支払うこととする。